

第1回市議会定例会

一般行政報告

第1回市議会定例会が3月1日に招集され、山下市長から一般行政報告を行いましたので、その概要をお知らせします。



1 市内における新型コロナウイルスの感染状況

「まん延防止等重点措置」の適用が延長となり、市民のみなさんには更なる感染防止対策をお願いしているところですが、2月に入り、市職員の感染により環境課の窓口業務を一時休止としたほか、納内診療所受託医師の感染により診療所を2月22日から28日まで休診とするなど、みなさんに不便を掛ける事態となりました。

また、市内特別養護老人ホームで集団感染（クラスター）が発生し、当該施設を運営する社会福祉法人によると、2月24日現在、職員23人、利用者53人、合わせて76人の陽性者が確認されました。

この集団感染に対し、感染拡大防止対策と介護サービスの継続を支援することを目的に、北海道、深川市、当該法人による「現地支援対策本部」を設置しました。

2 新型コロナウイルスワクチン接種事業

新型コロナウイルス感染症予防対策の重要な柱である3回目のワクチン接種は、2回目の接種を終えた18歳以上の方を対象に接種を進めており、65歳以上の方で2回目の接種から6カ月以上を経過した7454人と64歳以下の方で2回目の接種から7カ月を経過した3233人に接種券の発送を行い、2月25日現在、8575人（80.2%）の方の予約受け付けが完了しています。

接種については、市内13医療機関での個別接種とラ・カンパニーホテル深川での集団接種を2月上旬から開始し、順調に進んでいます。

また、5歳から11歳の小児を対象とした接種は、3月8日から開始できるよう準備を進めています。

市民のみなさんには、できるだけ早い時期の接種への協力と引き続き感染予防対策をお願いします。

3 市内高校生の就職希望者の内定状況

市内公立高等学校卒業予定者のうち就職希望者の内定状況は、2月25日現在、希望者31人に対し、内定者は28人で、内定率は90.3パーセント、就職未定者は3人です。この就職未定者については、学校をはじめ、関係機関と連携し、引き続き雇用の確保などが図られるように努めます。

4 交通安全

本市では、交通死亡事故の抑止と交通事故件数の減少を重点目標に、関係機関・団体と連携しているところですが、北海道の昨年の交通事故による死者数は前年を24人下回り、120人でした。なお、本市の状況は、交通事故件数は21件で前年を3件下回り、負傷者数は26人で前年を7人下回りましたが、残念ながら死亡事故が2件発生し、2名の死者が出ています。

悲惨な交通事故を1件でも減らせるよう、警察や交通安全協会、道路管理者などと連携し、人命の尊重を基本に交通安全意識の高揚に努め、交通事故防止の徹底を図ります。

5 市立病院における医師確保の状況

市立病院は、北空知圏域の中核病院として適正な医療の提供に努めています。平成16年度からの新たな医師臨床研修制度の導入により生じた、大学病院の医局における所属医師不足や都市部への医師偏在などの実状を受け、当院においても整形外科や小児科、産婦人科、眼科などの常勤医師が不在となるなど、非常に厳しい状況が続いたところです。

この間、院長や近隣首長とも連携を図り、常勤医師確保対策に取り組み、現在、眼科および小児科は常勤医師による診療体制が確保できているところです。産婦人科および整形外科の常勤医師は、現在も不在の状況が続いていますが、整形外科は、昨年12月に旭川医科大学より常勤医師派遣の打診があり、本年4月から常勤医師1名が当院に勤務する予定です。

今後も引き続き、適正な医療提供体制の構築に努めるとともに、経営の効率化を図り、持続可能な病院経営を目指し、最善を尽くします。

※このほか吉村教育長から「新型コロナウイルス感染症における小中学校の対応」令和3年深川市成人式」2件について教育行政報告を行いました。